

第61回日本東洋心身医学研究会

プログラム

テーマ

現代社会における心身のレジリエンス -東洋医学的アプローチの可能性-

ハイブリッド開催
(現地+Web)

開催日時

2026年3月14日(土)
12:45~17:45

会場

東京コンファレンスセンター・品川
〒108-0075 東京都港区港南1-9-36
アレア品川 3F-5F
※会場アクセスは、裏表紙をご覧ください。
第一会場：5階 大ホール LIVE配信
第二会場：5階 501
第三会場：4階 402N

会長

河合 啓介
国立健康危機管理研究機構
国立国府台医療センター
心療内科

オンデマンド配信 → 一般演題1~4 配信期間 | 2026年3月25日(水)~4月17日(金)

共催：日本東洋心身医学研究会 / 株式会社ツムラ

◎日本東洋心身医学研究会 ホームページアドレス
<https://www.k-kenkyukai.jp/toyoshinshin/>

参加者の皆さまへ

1. 参加申込みについて

事前参加登録が必要です。

参加登録方法

〈参加登録期間〉 2026年1月13日(火)～4月17日(金)

日本東洋心身医学研究会ホームページから参加登録
<https://www.k-kenkyukai.jp/toyoshinshin/>



必要事項をご入力して下さい



事前決済をお済ませ下さい



決済完了後に、ご登録いただいたメールアドレスへ登録完了メールが届きます。

※開催1週間前を目途に、Web視聴に関するご案内メールを送信する予定です。



現地参加の方へ

決済完了後に、マイページに表示される二次元コードを会期当日受付にてご提示ください



2. 参加費

会員

4,000円 (参加費1,000円、研究会年会費3,000円)

名譽会員、顧問は参加費1,000円のみ

会員(学生)

無料

非会員

5,000円 当日の入会可能

ハンズオンセミナー

無料

・申し込み先着順

・参加登録時に併せてお申し込みください

お支払い方法

カード決済のみとなります。

決済可能カード | VISA/Master Card/American Express/Diners Club/JCB

- 参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重払いにご注意下さい。
- 領収書は、会員ページからダウンロードをして下さい。
- 事情によりお手続きが困難な方は、最終ページに記載している事務局までご連絡下さい。

3. 参加・視聴に関するご案内および注意事項

第61回日本東洋心身医学研究会における講演(以下「本講演」)の参加・視聴にあたり、以下の内容をご確認いただきますようお願い申し上げます。

①本講演のLIVE配信は第一会場のみとなります。

一般演題1～4は3月25日(水)よりオンデマンド配信します。

②本講演の内容を無断で複写・複製・編集・録画・録音・転用(本講演のスクリーンショット・写真撮影・ダウンロード・他のサイトへのアップロードを含む)など著作権、肖像権の侵害、および不当な権利侵害を行わないで下さい。

③ログインIDやパスワードを他者に知らせたり、共有することのないよう管理して下さい。

Web 視聴の際の推奨視聴環境は以下の通りです。

Windows10以降/Google Chrome最新版

※JavaScriptが有効な状態でご利用ください。

※上記以外の組み合わせやMacの場合、画面が正しく表示されない、もしくは正しく機能しないことがあります。その場合、上記推奨の環境で再度操作願います。

4. その他

不測の事態等によりプログラムが変更になる場合もございます。適宜、HPにてアナウンスして参りますのでご確認下さい。

座長の皆様へ

講演座長の受付はございません。担当セッション開始10分前までに、会場内の次座長席に必ずお着き下さい。

演者の皆様へ

1) 演者の皆様へのご注意

※当日、リモートでの発表をご希望の先生は、2月13日(金)までに事務局までご連絡下さい。

- 1) 演者は前のセッション開始後、会場内の次演者席に必ずお着き下さい。
- 2) 各セッションの講演時間は以下の通りです。

一般演題	口演6分+質疑3分
EBM委員会報告	30分(講演15分×2名)
特別講演	40分
シンポジウム	45分(講演15分×2名、総合討論15分)
ハンズオンセミナー	65分(講義10分+腹診実技55分)

2) PC発表に関するご注意

(1) PC受付について

- ①1. USBメモリ、2.パソコン本体のうち、いずれかの形で発表データをお持ち込み下さい。
- ②発表の60分前までに、PC受付にて発表データの受付と試写を済ませて下さい。PCをお持ち込みの方も、60分前までにPC受付へお越しいただき、外部出力確認をお願いいたします。
- ③ファイル名は、【演題番号・演者名.pptx】として下さい。
- ④スライドのサイズは、16：9にて作成して下さい。

(2) USBメモリ、またはCD-R(RW不可)をお持ち込みの方への注意事項

- ①ソフトは、以下のものをご使用下さい。Windows版PowerPoint 2007/2010/2013/2016/2019/365
※動画ファイルをご使用の方、Macintoshをご使用の方はPCをお持ち込み下さい。
- ②フォントはOS標準のもののみご使用下さい。
- ③発表者ツール(演台モニターにスピーチ原稿を映す)は使用できません。発表者ツールをご希望の方はご自身のPCをお持ち込み下さい。

(3) ノートPCをお持ち込みの方への注意事項

- ①バックアップとして、必ずメディア(USBメモリ)もご持参下さい。
- ②画面の推奨解像度は、Full HD(1,920x1,080)をお願いいたします。
- ③PC受付にて映像の出力チェック後、発表者ご自身で会場内のオペレーター席へ発表の30分前までにお持ち下さい。※PCの機種やOSによって、出力設定方法が異なります。
- ④プロジェクターとの接続ケーブルの端子は、HDMIまたはミニDsub-15ピンです。PCによっては専用のコネクタが必要となりますので、必ずお持ち下さい。
※特に最近の小型PCは、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、くれぐれもご注意下さい。
- ⑤スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。Macをお持ち込みされる方は、Night Shiftの設定をOFFにして下さい。
- ⑥コンセント用電源アダプタを必ずご持参下さい。
※内蔵バッテリー駆動の場合、ご発表中に映像が切れる恐れがあります。

(4) PC操作のご案内

画面の操作はご自身で行っていただきます。演台にはキーボードとマウス、およびモニターがセットされています。PC受付にて担当者が操作方法を説明します。

(5) PC受付 オープン時間

3月14日(土)11:50～16:30 5階ホワイエ

3) 演題発表時の利益相反状態開示方法について

学術集会における演題発表時の利益相反状態開示方法は、以下の通りといたします。

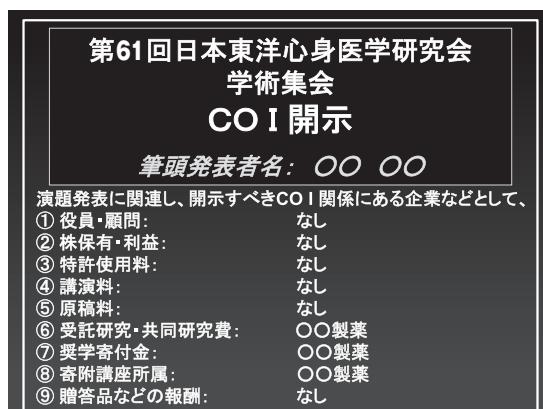
1. 開示しなくてはならない筆頭演者

臨床研究に関するすべての発表において、利益相反状態の有無にかかわらず開示をお願いいたします。

2. 口演発表における開示方法

演題名・演者名・所属のスライドの次のスライド(第2スライド)に、以下に示すひな形に準じたスライドを提示したうえで、利益相反状態の有無を述べて下さい。

利益相反状態にある場合のひな形



利益相反状態にない場合のひな形



※ひな形はホームページよりダウンロードいただけます。

単位付与について

日本心身医学会認定「心身医療専門医」および認定医の更新(3単位)

日本心身医学会・日本心療内科学会合同 「心療内科専門医」の更新(3単位)

※認定更新の方法は、各学会のHPでご確認下さい。

第61回日本東洋心身医学研究会

タイムスケジュール

	第一会場 (大ホール)	第二会場 (501)	第三会場 (402N)
12:45			
12:50	開会の辞 (5分)		
12:50	一般演題1 (55分) 6演題	一般演題2 (55分) 6演題	
13:45	休憩 (5分)		
13:50	EBM委員会報告(30分) 「コロナ後遺症、抗ウイルス作用」 座長：岡 孝和 演者：薗田 将樹、藤兼 亜耶		
14:20	総会(理事会報告)と授与式 (20分)		
14:40	休憩 (10分)		
14:50	特別講演(40分) 「気持ちと身体の痛みに効く漢方薬」 座長：河合 啓介 演者：間宮 敬子		
15:30	休憩 (10分)		
15:40	一般演題3 (65分) 7演題	一般演題4 (65分) 7演題	ハンズオンセミナー (65分) 腹診実技 講師：奥見 裕邦 森永 明倫
16:45	休憩 (10分)		
16:55	シンポジウム(45分) 「女性のこころに寄り添う漢方を考える」 座長：芦原 瞳、端詰 勝敬 演者：小川 真里子、林 果林		
17:40	閉会の辞 (5分)		
17:45	情報交換会		
18:45			

※第一会場のみLIVE配信致します。一般演題1～4は3月25日(水)よりオンデマンド配信致します。

第61回日本東洋心身医学研究会 プログラム

◆会期：2026年3月14日(土) 12:45～17:45

◆第61回会長：河合 啓介 (国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター 心療内科)

開会の辞 第61回会長 河合 啓介

(国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター)

(12:45～12:50)

■一般演題1 (第一会場)

(12:50～13:45)

座長：久永 明人 (ホスピタル坂東)

丸岡 秀一郎 (日本大学)

1. 体位性頻脈症候群に対する漢方治療の有効性

済生会横浜市南部病院 脳神経内科¹⁾、小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター²⁾

○中江 啓晴¹⁾、草鹿砥 宗隆²⁾、小菅 孝明²⁾

2. 起立性調節障害患者の背景にある心身相関に桂枝加竜骨牡蠣湯加減が奏効した一例

飯塚病院 漢方診療科

○松山 圭、川野 綾子、竹内 肇、中尾 桂子、吉永 亮、矢野 博美、井上 博喜

3. 頭痛の原因検索と、治療における漢方薬の役割に関する考察

香川大学医学部附属病院 精神科神経科¹⁾、香川大学医学部附属病院 麻酔・ペインクリニック²⁾

高松市立みんなの病院 脳神経外科³⁾、香川大学医学部医学科 健康科学⁴⁾

○木戸 瑞江¹⁾、藤本 悠²⁾、戸田 恵梨²⁾、四方 英二³⁾、佐野 愛²⁾、中村 祐¹⁾、塩田 敦子⁴⁾

4. 回避・制限性食物摂取症の体重回復に

補中益氣湯が補助的に有効であったと考えられる1例

東京大学医学部附属病院 心療内科

○浅見 文邦、山中 結加里、野原 伸展、吉内 一浩

5. 歩行困難を主訴とする変換症患者に対して半夏厚朴湯を併用した

包括的心身医学療法が有効だった一例

九州大学病院 心療内科¹⁾、九州大学大学院医学研究院 心身医学²⁾

○三澤 史明¹⁾、朝野 泰成²⁾、宮田 典幸¹⁾、須藤 信行²⁾

6. 甘麦大棗湯が効果を認めた2症例

国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター 心療内科¹⁾、総武病院²⁾

○富田 吉敏¹⁾²⁾、河合 啓介¹⁾

■一般演題2（第二会場）

(12:50~13:45)

座長：千々岩 武陽（はこざき漢方内科・心身医療クリニック）
山田 和男（東北医科薬科大学）

1. 薬物関連顎骨壊死(MRONJ)治療中のストレス不安に抑肝散が有効であった1例

上越総合病院 歯科口腔外科
桑原 徹

2. 喧嘩の絶えない夫婦に漢方方剤の夫婦同服が有効だった症例

まきメンタルクリニック
西崎 真紀

3. 併存する皮膚疾患に注目した漢方治療によって精神症状が改善した1例

阪神漢方研究所附属クリニック
○藤田 昌弘、伊添 千寿

4. 咳喘息に対し漢方薬が効果的であった一例

岐阜県総合医療センター 産婦人科・東洋医学科
佐藤 泰昌

5. 嘘気症に抗不安薬と漢方薬の併用が有効であった一例

福岡徳洲会病院
○山下 真

6. 月経前症候群を伴う適応障害に対し漢方治療が有効であった一例

北海道大学病院 婦人科
○小林 範子、良川 大晃、渡利 英道

■EBM委員会報告（第一会場）

(13:50~14:20)

座長：岡 孝和（国際医療福祉大学）

2025年8月末におけるCOVID-19罹患後症状に対する漢方治療についての文献レポート

TDK成田診療所 所長
薦田 将樹

麻黄湯はなぜ抗ウイルス作用を示すのか — 基礎研究から読み解く作用機序

福岡大学医学部 総合診療学講座
藤兼 亜耶

■総会(理事会報告)と授与式（第一会場）

(14:20~14:40)

日本東洋心身医学研究会 理事長
芦原 瞳

■特別講演（第一会場）

(14:50~15:30)

座長：河合 啓介（国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター）

気持ちと身体の痛みに効く漢方薬

信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門 教授

間宮 敬子

■一般演題3（第一会場）

(15:40~16:45)

座長：伊藤 直樹（北里大学）

福士 審（石巻赤十字病院／東北大学）

1. 人参養栄湯エキスを摂取した高齢マウスの気力向上と 脳内グルタミン合成酵素の発現変化

福岡大学薬学部臨床疾患薬理学研究室

○渡辺 拓也、峰 琉斗、藤川 理沙子、桂林 秀太郎、岩崎 克典

2. 難治性うつ病の治療戦略：漢方薬と幹細胞を用いたオキシトシン神経回路改変の意義

札幌医科大学統合IR・医療人育成センター¹⁾、砂川市立病院精神科²⁾、札幌医科大学神経精神医学講座³⁾

ミラノ大学薬理生体分子科学講座⁴⁾、札幌医科大学AIN・ニトリ緩和医療学・支持療法学講座⁵⁾

札幌医大学生理学講座⁶⁾、札幌医科大学産婦人科学講座⁷⁾、帯広厚生病院精神科⁸⁾

札幌医科大学解剖学第二講座⁹⁾、札幌医科大学保健医療学部作業療法学科¹⁰⁾

○鵜飼 渉¹⁾³⁾、出利葉 健太²⁾³⁾、西村 恵美³⁾、Marchesin Alessia⁴⁾、橋本 恵理³⁾

望月 真里菜³⁾、橋口 華子³⁾、川村 舞³⁾⁵⁾、井上 結翔⁶⁾、磯山 韶子⁷⁾、古瀬 研吾³⁾⁸⁾

永石 歓和⁹⁾、石井 貴男³⁾¹⁰⁾、Riva Marco⁴⁾、河西 千秋³⁾

3. 抑肝散構成生薬成分の網羅的in silico スクリーニング： セロトニン受容体への結合性評価と中枢移行性の予測

横浜薬科大学大学院

○宮澤 壽成、曾根 秀子

4. 桃核承気湯と通導散

朋佑会札幌産科婦人科

佐野 敬夫

5. 虚証タイプのパニック症に桂枝加竜骨牡蠣湯（+ボレイ末）が奏効した10症例

郡上市民病院 心療内科（精神科）

森清 慎一

6. 当院における炙甘草湯207例の使用経験

一宮むすび心療内科
小出 将則

7. 地域高齢者における中枢性感作症状と冷え症の関連 — お達者健診研究 —

東邦大学医学部 心身医学講座¹⁾、弘前大学医学部 医学研究科 医科学専攻 社会医学講座²⁾
東京都健康長寿医療センター研究所³⁾

○竹内 武昭¹⁾、鈴木 寿宗¹⁾、橋本 和明¹⁾、井原 一成²⁾、大渕 修一³⁾
平野 浩彦³⁾、藤原 佳典³⁾、河合 恒³⁾、笠井 浩行³⁾、端詰 勝敬¹⁾

■一般演題4（第二会場）

(15:40~16:45)

座長：牧野 真也（野原歯科室）
吉原 一文（九州大学）

1. 老年期女性の慢性外陰痛を湿熱・血虚と捉え、漢方薬が奏効した3症例の検討

総合病院土浦協同病院¹⁾、かしわの葉レディースクリニック²⁾
つくばセントラル病院産婦人科³⁾、東邦大学薬学部⁴⁾
○松岡 竜也¹⁾、岡村 麻子²⁾³⁾⁴⁾

2. 外陰痛に対して漢方治療を行った5症例

札幌白石産科婦人科病院
武田 智幸

3. 術後のフレイル患者に対し、人参養栄湯が奏効した一例

公法人愛媛県立中央病院
○宇都宮 健、鶴田 寛二、寺野 友美、兵頭 沙梨、山岡 傳一郎

4. 気血双補剤と利水剤の組み合わせが奏功した治療抵抗性腰背部痛の一例

はこざき漢方内科・心身医療クリニック
千々岩 武陽

5. 内科疾患により薬剤選択の制限がある頭痛に対して漢方薬が有効であった一例

北海道大学病院 婦人科
○良川 大晃、小林 範子、渡利 英道

6. 西洋学的治療に難済した夜間の精神的不穏に漢方薬が奏効した1例

富士クリニック
藤田 周一郎

7. 人参養栄湯の放射線治療中のQOLと血液検査影響

帝京大学医学部附属病院 放射線科
○白石 憲史郎、熊谷 仁

■ハンズオンセミナー（第三会場）

(15:40~16:45)

※参加費：無料 定員：20名(申し込み先着順・現地のみ)

テーマ 知って役立つ腹診実技

講師：奥見 裕邦 (医方会グループ奥見診療所 理事長兼院長)

講師：森永 明倫 (東京女子医科大学附属東洋医学研究所 助教)

■シンポジウム（第一会場）

(16:55~17:40)

テーマ 【女性のこころに寄り添う漢方を考える】

座長：芦原 瞳 (芦原内科・心療内科(中部心身医療研究所))

端詰 勝敬 (東邦大学)

産婦人科医から見た、女性の心身の不調

～PMSや更年期の心身の不調～

福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター 教授
小川 真里子

心身医学専門医から見た、女性の心身の不調

～周産期うつ病や食行動の問題など～

東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック 准教授
林 果林

閉会の辞 第61回会長 河合 啓介

(国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター)

(17:40~17:45)

研究会終了後、情報交換会の場をご用意しております。

日本東洋心身医学研究会役員

役 員

理 事 長	芦原 瞳				
副 理 事 長	河合 啓介	端詰 勝敬			
理 事	浅川 明弘	網谷 真理恵	伊藤 直樹		
	岡 孝和	小川 真里子	奥見 裕邦		
	木村 容子	佐藤 研	須藤 信行		
	千々岩 武陽	中尾 瞳宏	西田 慎二		
	蓮尾 英明	久永 明人	福士 審		
	穂坂 路男	牧野 真也	丸岡 秀一郎		
	山田 和男	吉内 一浩	吉原 一文		
監 事	杵渕 彰	山岡 昌之			

名譽会員

名 誉 理 事 長	末松 弘行	山岡 昌之	
名 誉 理 事	吾郷 晋浩	石川 俊男	乾 明夫
	杵渕 彰	伊藤 隆	久保木 富房
	佐々木 大輔	千葉 太郎	中井 吉英
	村上 正人	山本 晴義	
功 劳 会 員	井出 雅弘	岡田 宏基	福永 幹彦
	村松 芳幸		

特 別 顧 問	鴨下 一郎	久保 千春	松田 邦夫
---------	-------	-------	-------

会場案内図



医療用漢方製剤の適正使用をして頂くために

有効例等の症例報告に関する情報もございますが、その症例が全ての症例にあてはまるものではなく、当該医薬品の処方を推奨するものではありません。

承認された効能・効果・用法・用量につきましては、当該製品の添付文書をご参照ください。

本研究会に関するお問い合わせ

第61回日本東洋心身医学研究会 共催事務局

株式会社ツムラ 医薬マーケティング部内

〒107-8521 東京都港区赤坂2-17-11

Mail : toyoshin@mail.tsumura.co.jp

ツムラお客様相談窓口 TEL:0120-329-970 (9:00~17:30 平日のみ)

共催事務局ではテレワークを実施しております。

たいへんお手数ではございますが、ご連絡ご質問の際には、
E-mailにてお問合せいただきますよう、ご協力のほど宜しくお願ひ申し上げます。